

クリニカルパスウェイ
全身麻酔下胸腔鏡手術を受ける患者さんへ

2018年11月作成
東京慈恵会医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	術前	入院日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	手術2日目	手術3日目以降	退院日	退院後の生活
日時		月 日	月 日	月 日 時頃	月 日	月 日	月 日	月 日	
目標	☐ 手術の必要性・内容が理解できる。	☐ 精神的・身体的に問題なく手術が受けられる。	☐ 精神的・身体的に問題なく手術が受けられる。	→	☐ 息苦しさがなく、呼吸が安定し、早期に退院する。	→	→	→	
食事	☐ 制限なし	☐ 常食もしくは治療食 ☐ 21時から絶食 ☐ 20時から経口補水、または経口飲水があります。	☐ 絶食 ☐ 朝6時より飲水禁止 	☐ 基本的に絶飲食となります。	☐ 朝より常食開始 	☐ 常食	☐ 常食	☐ 常食	☐ 食事についての制限は特にありません。
活動	☐ 制限なし	☐ 制限なし	☐ 制限なし	☐ ベッド上安静となります。	☐ 看護師付添いのもと、歩行を開始していきます。	☐ 制限なし 激しい運動は禁止ですが、軽いウォーキングなら可能です。	☐ 制限なし	☐ 制限なし	☐ 運動は、軽いお散歩なら大丈夫ですが、激しい運動はお控えください。傷口が完全にくっついているわけではないので、激しく運動をすると傷口から出血してくる可能性が考えられます。
検査処置	☐ 術前検査があります。 (採血・尿検査・心電図・痰・胸部CT・レントゲン・血液ガスなど)	☐ 採血検査があります。 ☐ マーキングをおこないます。 	☐ 入室時間は : です。 ☐ 時に手術着に着替えます。 ☐ 貼り薬、金属類、入れ歯、装飾品はすべて外して入室します。 ※付き添われるご家族の方は5階か4階ロビーにてお待ちください。	☐ 手術終了後に胸部レントゲンを撮影します。	☐ 随時、採血や胸部レントゲン検査をおこないます。 ☐ 身体に酸素が足りていない時は、酸素をしていただく場合があります。	☐ 医師の判断で胸腔ドレーンを抜去します。 ☐ 胸腔ドレーン抜去後は、午後に必ずレントゲンを撮影します。レントゲンの結果で、退院日が決まります。 	→	→	
薬	☐ 医師・看護師の指示に従ってお薬を内服していただきます。	☐ 看護師・医師の指示に従ってお薬を内服していただきます 	☐ 指示があったものを朝に内服します。	☐ 手術後は点滴をおこないます。	☐ 基本的には持参薬は全て再開します。その際、痛み止めが追加されます。 ☐ 食事が食べられない時は点滴をします。 ☐ 抗生剤の点滴をします。			☐ 抗生剤を内服し、退院後も継続していただく場合があります。看護師から必要時は説明があります。	
清潔	☐ 制限なし	☐ シャワー浴 術後数日はシャワーに入れないので、手術前日に入ってください。 			☐ シャワー禁止です。清拭をおこないます。	☐ 胸腔ドレーン抜去後はシャワーのみ可能です。 ☐ 入浴は次回外来までお控えください。 	→	→	
指導説明	☐ 内服しているお薬は看護師に知らせてください。 ☐ 病状についての説明があります。	☐ 前日の食事、飲水の可能な時間をお伝えします。 ☐ 術後に集中治療室に入室する可能性があります。 入室する場合は見学にいきます。			☐ 胸腔ドレーンや点滴などの管が抜けないように、十分注意して活動しましょう。また、身体の下敷きになったり、折れ曲がったりしないように注意してください。			☐ 手術で取った部位の結果がわかり次第、医師より説明があります。結果にて、次の治療方針を決めていくことになります。	☐ 傷口が赤くなっていたり、痛みが強い時、熱がある時は病院へご連絡ください。 ☐ 呼吸が苦しい時は、その場に立ち止まり、一度大きく深呼吸をしてください。それでも呼吸が苦しいようでしたら、病院へご連絡ください。

《連絡先》 東京慈恵会医科大学附属第三病院 TEL:03-3480-1151
平日：外科外来（内線 3255） 夜間・休日：救急室（内線 3399）